

自分たちの村の税金の使い方について考える

銚子市立銚子中学校教諭 3 学年 阿部 愛実

実施年月日：令和 6 年 11 月、令和 7 年 1 月 26 名

1 実践計画・指導のねらい

地方財政について学習指導要領では、「B 私たちと経済」、「C 私たちと政治」の 2 つ領域で学習する。本校で使用している「新しい社会 公民」（東京書籍）では、はじめに政治分野を学習し、次に経済分野を学習する流れになっている。同じことを 2 回学習するのではなく、地方自治について学習する中で地方財政についても学習できるように計画をたてた。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、こどもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1 R6. 11	・「地方公共団体の課題」 令和 5 年度銚子村決算報告を見て、銚子村のお金の使い方を考え、課題と良い点を考える。	○ 銚子村の決算報告を見て、気づくことは何か。 ● 子育て支援にお金をかけている。 ● 給食費が無償になっている。 ○ 銚子村の課題と良いところはどこか。 ● 水害で壊れた道路がなかなか直らない。 ● 一人暮らしの高齢者が増えている。 ● 人口減少が進んでいる。 □使用教材名 教科書「新しい社会 公民」（東京書籍） 広報さけがわ No. 614 広報とざわ No. 635 広報もがみ No. 883 広報ふながた No. 788 広報しんじょう No. 802 広報おおくら No. 782 広報まむろがわ No. 685
2 R6. 11	・「住民参加の拡大と私たち」 前時の学習で出た、課題を解決するために私たちは銚子村の政治にどのような方法で関わるができるのかを考える。	○ 私たちは銚子村の政治にどのような形で関わるができるだろうか。 ● 選挙に行く。 ● 住民投票などの機会で、自分の意見を投票する。 ● 村役場に設置されている意見箱に、意見を投函する。 ● 請願書を作って、議会に提出する。 □使用教材名 教科書「新しい社会 公民」（東京書籍） 資料集「ビジュアル公民」（とうほう） 広報さけがわ No. 614
3 R7. 1	・「わたしたちの生活と財政」 税金の種類と税金の必要性を学習する。11 月の政治の学習も踏まえて、あらためて、銚子村の財政について考える。	○ 税金はなぜ必要なのか。 ● 国を運営するために必要。 ○ 銚子村が今後お金をかけていくべきところはどこだろうか。 ● 人口減少が課題であるため、未来の住民にもなりえる子どもたちにお金をかけるべき。 ● 村の道路で除雪がされず、不便なことがあるから、除雪にもお金をかけてほしい。 □使用教材名 教科書「新しい社会 公民」（東京書籍） 資料集「ビジュアル公民」（とうほう） DVD 教材「ご案内しますアナザーワールド」（国税庁） 副教材「私たちの暮らしと税」（国税庁）

【指導のポイント】＜1 時間目＞

・銚子村のお金の使い方の特徴に気づきやすくするために、最上郡 8 市町村の広報に掲載されている決算報告と比較した。
・決算報告は印刷すると膨大な量となるために、チームズにアップロードし確認できるようにした。



【指導のポイント】＜2 時間目＞

・具体的な課題について考えることで、生徒にとっても主体的に考えることができた。
・政治に関わる方法として、村役場にある意見箱や掲示板の写真の提示した。

【指導のポイント】＜3 時間目＞

2 時間目の授業では課題と考えることが一致しておらず、思考が深まった面もある。政治の学習を終えたところで、経済の学習の中で銚子村の財政について、改めて考えさせたい。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）（租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など）

◎ 他の市町村の決算報告と比べることで、決算そのものの額の違いや、決算の割合の違いに気づくことができた。

◆ 生徒に実感を持たせるために、銚子村の決算報告を活用したが難しい用語が多かったり、具体的に何に使われているものなのかが分からなかったりして、生徒にとっては難しかった。

（その他）他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など

・今回授業を行った 3 年生は、2 年時に山形税務署の租税教室を実施してみた。例年夏休み頃にかけて募集のある税の作文の応募に向けて、ある程度税に関する知識を持ってほしいという思い、3 年生の予習にもなるだろうという思いから行った。しかし実際は公民の授業が始まっていない 2 年時は、世の中への事象へ対する関心が浅く、あまり効果は実感できなかった。